

## —2025年度第1回（第30回）建設技術講演会—

共催：（一財）茨城県建設技術管理センター  
（公社）土木学会 関東支部 茨城会

（一財）茨城県建設技術管理センターおよび（公社）土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたく、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す2名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：2025年7月25日（金） 講演 14:15～16:30（受付 13:45）

○場所：公益財団法人 茨城県開発公社 4階大会議室  
〒310-0852 水戸市笠原町978-25 茨城県開発公社ビル  
TEL 029-301-7000（代）

○プログラム：

14:15 開会

14:15 主催者挨拶

14:20～15:20（質疑時間を含む）

〈講演1〉下水道の変遷と今後の気候変動対応

〈講師〉茨城大学 学術研究院 応用理工学野 都市システム工学領域 教授  
地球・地域環境共創機構 副機構長 藤田 昌史 氏

〈概要〉下水道の起源については諸説ありますが、最も古いものは遙かメソポタミア文明にまで遡るようです。現在、日本には約2200カ所の下水処理場があり、処理方法として主に活性汚泥法（微生物反応を利用した処理）が採用されています。活性汚泥法は、1914年にイギリスの化学者により開発されました。このように下水道施設が有する下水の排除機能、水質浄化機能は、長い歴史を経て現在に至っています。本講演では、これらの変遷を概観したうえで、近年の下水道が直面している課題について、特に気候変動対応の観点から説明します。また、カーボンニュートラルに向けた下水処理のデジタルツインの研究についても紹介します。

15:20～15:30 休憩

15:30～16:30（質疑時間を含む）

〈講演2〉上下水道における国土強靱化の現状と今後について

～令和6年能登半島地震と埼玉県八潮市道路陥没事故を教訓として～

〈講師〉国土交通省 水管理・国土保全局 下水道事業課 事業マネジメント推進室  
課長補佐 辻 幸志 氏

〈概要〉気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震、社会経済システム機能に大きな影響を与えるおそれのあるインフラの老朽化から、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の取組が進められており、上下水道分野においては、地震対策、浸水対策、老朽化対策が重点的・集中的に推進されています。このような中、令和6年能登半島地震や埼玉県八潮市道路陥没事故が発生したことを受け、上下水道施設の耐震化状況の緊急点検や下水道管路の全国特別重点調査の実施されたほか、有識者委員会により今後の地震対策や老朽化対策のあり方などが示され、

本講演では、これらの概要や地震・老朽化対策の現状と今後の方向性について紹介します。

16:30 閉会

- 参加費 : 無料 (事前登録制)
- 特典 : 希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます (2.0 単位)
- 申込方法 : 下記申し込みフォームより参加登録をお願いいたします

<https://forms.gle/2L9VDM3J7Rkhp1a99>



※定員に達し次第、申込締切とさせていただきますのでご注意ください。

※おひとり様ずつの申し込みをお願いいたします。メールアドレスは重複してもかまいません。

- 申込期限 : 7月11日(金)
- 連絡先 : 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1 茨城大学日立キャンパス  
土木学会関東支部事務局 担当: 曾我部まで  
TEL / FAX: 0294-38-5160 E-mail: [sogabe.natsumi.0123@gmail.com](mailto:sogabe.natsumi.0123@gmail.com)